

ジャン = リュック・ゴダール _{遺作}

ÉCHAN NOIR Productions

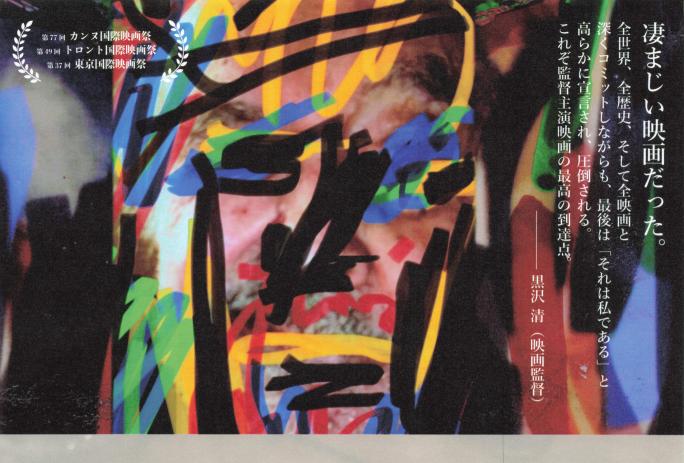
arte

nekojarashi 🏂





製作:Écran noir productions Arte Franc<mark>e ねこじゃらし/Roadstead</mark> 配給:ねこじゃらし 後援:在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ 在日スイス大使館 <u>2024 年|フランス/日本|54 分[カラー|フランス語|日本語字幕</u> ②



ジャン=リュック・ゴダールから、映画界への最後の贈り物。

2022 年 9 月 13 日、ジャン=リュック・ゴダールはスイスにて自発的な死を遂げた。彼はその 2 年前から、『シナリオ』(Scénario)と題した最後の長篇映画企画に取り組んでいた。モンタージュの構想を記した手帳やノートが、アイデアを明確にするために何冊も作られた。ところが、ゴダールは死の数日前になってカードを切り直し、二部構成の映画を仕上げるように指示を出す――。それに従って制作されたのが本作『シナリオ』(Scénarios)である。

本作は、コラージュ技法による 18 分の本編『シナリオ』 (Scénarios) と、ゴダール自身が長篇企画『シナリオ』の制作ビジョンを語るドキュメンタリー映像『シナリオ:予告篇の構想』 (Exposé du film annonce du film "Scénario") の二部で一つの作品として構成されている。

時代を超えた美学と革新的な映像表現を追求し続けた巨匠が、映画と私たちに贈る最後のメッセージとは――。









『シナリオ』 (Scénarios)

監督・脚本・編集:ジャン=リュック・ゴダール 撮影:ファブリス・アラーニョ 製作主任:ジャン=ボール・バタジア 製作助手:オーレリアン・ブティ、リゾン・ドゥート

『シナリオ:予告篇の構想』(Exposé du film annonce du film "Scénario")

監督・脚本・編集:ジャン=リュック・ゴダール 共同執筆:ジャン=ポール・バタジア、ファブリス・アラーニョ

助言:ニコル・ブルネーズ 撮影:ファブリス・アラーニョ 製作主任:ジャン=ボール・バタジア 製作助手:オーレリアン・ブティ、リゾン・ドゥート

プロデューサー:ミトラ・ファラハニ、ファブリス・ビュショー、川村岬 アソシエイト・プロデューサー:機舘南菜子 字幕翻訳:手束紀子 翻訳監修:堀潤之 WEB https://roadstead.io/scenarios

